

関係者各位

2022年(令和 4年)1月 18 日

社会福祉法人 広島聴覚障害者福祉会  
アイラブ作業所 施設長 沖本浩美

新型コロナウイルス感染症の発生からの経過報告 第5報  
及び、1月20日(木)からの作業所再開のお知らせ

平素は、当作業所の運営に御理解、ご協力をいただき、誠にありがとうございます。

15日(土)以降の経過報告です。

昨日1月17日(月)、新たに仲間2名の新型コロナウイルス陽性が判明いたしました。現時点で法人内の陽性者は9名となりました。(中保健センターからは、それぞれの感染に関して、当作業所内に濃厚接触者に該当する者はないと言われています。)

なお、1月以降に通勤通所した、職員と仲間の皆様をお願いしてきましたPCR検査の結果も、ほぼ出揃いました。アイラブ作業所職員21名(陽性4名、その内すでに療養解除1名/陰性17名)結果待ちなし。仲間40名(陽性4名/陰性30名)結果待ち6名。関係部署9名(陽性1名/陰性8名)結果待ちなし。(18日朝現在)となっております。これまで、毎日、感染状況の把握を行なってきましたが、

1月20日(木)から作業所を再開いたします。

再開にあたり、明日1月19日(水)には、職員全体会議を行い、フローチャートを共有。今後感染を疑う出来事が起こった場合の対応や、作業所で一人ひとりが取り組んでいく、具体的な感染防止対策も確認します。そして、コロナ対策への新たな決意を持って、また仲間の皆様と一緒に頑張っていきたいと思っております。

この度は、仲間の皆様、ご家族、関係者の皆様、並びに、地域の皆様には、多大なるご心配、ご迷惑をお掛け致しました。今後は、より一層、感染防止に取り組んでまいりますので、ご理解、ご協力のほど、心からお願い申し上げます。